

2009年夏季賞与の見通し 製造業を中心に大幅に減少

(1) **今夏の賞与を展望すると、民間企業の1人当たり支給額は、前年比▲7.6%**と夏季賞与としては3年連続のマイナスに(図表1)。金額も事業所規模5人以上のベースで統計を取り始めた1990年以来初の40万円を下回る水準へ。

(2) **背景には、企業収益の急速な落ち込み**(図表2)。08年度の企業収益は、輸出の失速、内需の低迷を受けた大幅な売上減少により、減益幅が拡大。特に製造業では、下期に赤字を計上するなど収益悪化が深刻。このため、**製造業を中心として、賞与金額に下押し圧力**がかかる見込み(図表3)。

(3) 収益が急速に悪化したため、支給自体を見送る企業も増え、支給労働者割合も低下する見通し。このため**支給総額は▲11.1%と大きく落ち込む見通し**(図表4)。

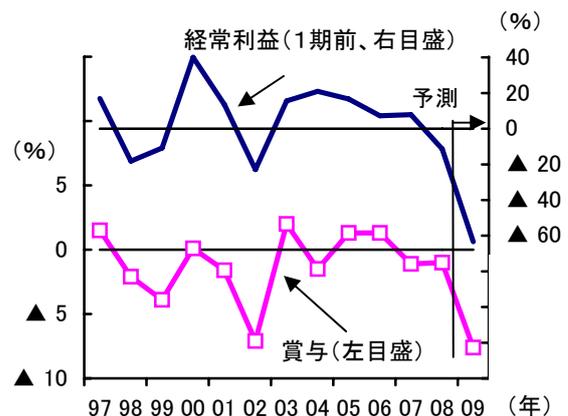
(4) なお、国家公務員については、前年度対比据え置きの見込み(図表1再掲)。民間の急激な減少を受け、今夏の人事院勧告では、支給月数の引き下げが行われる公算大。もっとも、夏季賞与について引き下げが決定されても、引き下げ分の調整は年末に実施される見込み。地方公務員についても同様の動きとなる見込み。

図表1 2009年夏季賞与の見通し

	民間企業		国家公務員	地方公務員
	製造業	非製造業		
2008年度夏季(実績)				
支給額(万円)	40.6	51.7	37.9	62.9
前年比(%)	▲1.0	1.1	▲1.5	0.7
2009年度夏季(予測)				
支給額(万円)	37.5	46.7	35.2	62.9
前年比(%)	▲7.6	▲9.6	▲7.1	0.0

(資料)厚生労働省、総務省、人事院
(注)予測は日本総合研究所作成。

図表2 経常利益と夏季賞与(前年比)



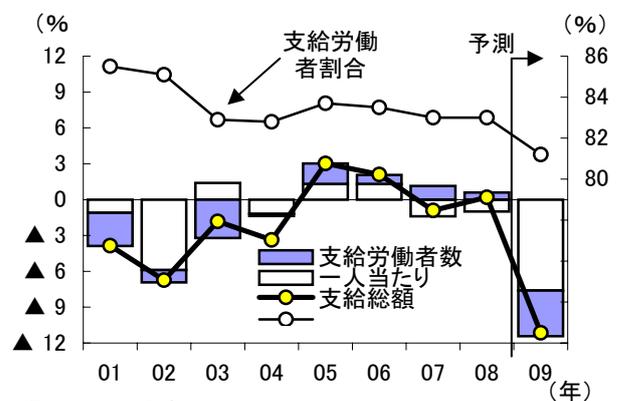
(資料)厚生労働省、財務省、総務省
(注)09年度夏の賞与、08年度下期経常利益は日本総研予測。

図表3 売上高と経常利益の見通し(日銀短観3月調査)

	売上高		経常利益	
	(%)	(%)	(%)	(%)
製造業				
08年度	▲7.0	▲60.0		
上期	3.9	▲16.9		
下期	▲17.1	赤字		
09年度	▲7.7	▲25.5		
上期	▲14.9	▲53.0		
下期	0.0	利益		
非製造業				
08年度	▲1.5	▲22.2		
上期	3.8	▲15.7		
下期	▲6.4	▲35.1		
09年度	▲4.7	▲2.9		
上期	▲8.0	▲19.0		
下期	▲1.4	17.7		

(資料)日本銀行

図表4 支給総額と支給労働者割合



(資料)厚生労働省